

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	12	学校名	各務原西高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	単位制の特長を活かし個に応じた多様な学びを可能とする高校として きめ細かな指導による学力の伸長と、探究的な学びの充実を通して 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成を目指す学校
------------------------	---

学校教育目標 (教育方針)	1 生徒一人一人を大切にし、その全人的な発達を図る。 2 学ぶことを愛し、豊かな情操と健全な心身を養い、自らの可能性を追求して個性を伸ばし、 将来における自己実現の能力を培、国家及び社会の有為な形成者となるとともに、 国際社会においても貢献できる人材の育成を目指します。
------------------	--

3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、自ら考え判断し、適切な行動ができる生徒（「好学時習」） ・幅広い視野をもって、主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓く力を身に付けた生徒（「質実剛健」） ・調和のとれた豊かな人間性や社会性、多様な人々と協調・協働する力を備えた生徒（「互敬友愛」）
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・個の進路希望に応じた多様な選択科目と少人数クラス編成による「主体的・対話的な深い学び」の推進 ・課題を発見し探究する力や地域社会に貢献できる実践力を育むため、探究的な活動やキャリア教育の実践 ・他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるよう、学校生活全般において様々な経験を重ねることができる機会の提供
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲をもち、発展的な学習に進んで取り組もうとする生徒 ・学習のみならず、部活動や生徒会活動、ボランティア活動など様々な活動にも積極的に取り組みたい生徒 ・高い規範意識をもち、豊かな人間性や社会性を身に付けたい生徒

学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を発揮する場が少なく、受け身の学習が定着している。 ・教職員、生徒とも現状に満足し、新事業の導入や変革に足踏みをする傾向がある。 ・校内での取組を対外的にアピールする部分が弱い。
----------	--

教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学校経営	全教職員が学校の課題について意見を出し合い、生徒の主体性を育む学校づくりを進める。
	学習指導	ICT機器の活用等による教職員の業務効率化や負担軽減を推進するとともに、生徒の実態を踏まえた学習指導の仕組みを確立する。
	進路指導	生徒自らが希望する進路を実現できるように、確かな学力や専門的な知識・技能を身に付けさせる指導の充実を努める。
	生徒指導	主体的な判断や責任ある行動ができる生徒の育成及び安全で安心な学校生活が送れるよう、全職員で組織的な生徒支援を行う。